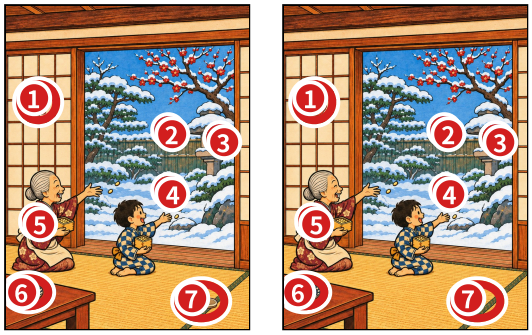
節分の豆まき 間違い探し（むずかしい）　進行役用シート(職員の方用)

左右の絵を見比べて、違う7か所を探します。色・模様・数・向きなど、小さな違いが多いレベルです。見つけにくいときは、場所(「絵の右上のあたり」など)や違いの種類(「色がちがうところがあります」など)をヒントにしてください。答えのあとは「声かけ例」で節分の思い出話に広げてみてください。



1 鬼のお面

場所：絵の左上のあたり　／　鬼のお面の顔つきがちがいます

豆まきでは、お父さんが鬼のお面をかぶって鬼の役をする家庭も多くありました。

声かけ例：豆まきで、鬼の役をしたことはありますか？

2 すずめ

場所：絵の右のほう　／　右の絵にだけいます

冬のスズメは羽をふくらませて丸くなり「ふくら雀」と呼ばれます。縁起のよい姿とされてきました。

声かけ例：庭やベランダに来る鳥で、覚えているものはありますか？

3 石灯籠

場所：絵の右のほう　／　石灯籠の窓の形が、左は四角、右は丸です

石灯籠は、もともとお寺や神社に明かりを供えるためのものです。のちに日本庭園の飾りとしても置かれるようになりました。

声かけ例：雪の積もった庭を見て、思い出すことはありますか？

4 まいた豆

場所：絵の右のほう　／　飛んでいる豆の数がちがいます(左の絵のほうが1つ多い)

「鬼は外、福は内」の掛け声で豆をまき、まいたあとは年の数だけ豆を食べると、一年を元気に過ごせるといわれます。

声かけ例：豆まきのとき、どんな掛け声をかけていましたか？

5 着物の柄

場所：絵の左下のあたり　／　おばあさんの着物の柄が、1つだけちがいます

着物の柄には、梅・桜・菊など季節の花がよく使われます。梅は冬の終わりに咲き、春を告げる花です。

声かけ例：お気に入りの着物や浴衣の柄はありましたか？

6 お皿

場所：絵の左下のあたり　／　お皿の模様が、左はしま、右は水玉です

白地に藍色の模様の器は「染付(そめつけ)」と呼ばれ、昔から日本の食卓でよく使われてきました。

声かけ例：ご実家で使っていた食器で、覚えているものはありますか？

7 スリッパ

場所：絵の右下のあたり　／　左の絵にだけあります

スリッパは、明治のはじめに、靴のまま家に上がろうとする外国人のために考え出されたといわれます。

声かけ例：家の中では、スリッパをはきますか？

ご利用について

できること ご家庭・介護施設・デイサービス・地域の教室などで、印刷して利用者の方に配ること／レクの中で、問題を読み上げたり、ホワイトボードに書き写したりして使うこと／画面に映してレクに使うこと

禁止していること PDFデータの再配布(他のサイト・SNS・共有フォルダへの掲載など)／問題・解説・イラストなどの素材を、そのまま、または改変して、書籍・冊子・動画(YouTubeなど)・アプリ・ウェブサイト・教材の制作に使うこと／販売や、有料サービスでの利用

ほかの方に紹介していただく場合は、PDFではなく掲載ページのURLをお知らせください。